

緑の風



令和6年7月10日（水）
流山市立おおぐろの森中学校
第3学年 学年通信

1 学期を振り返って

1学期もあっという間に終わりを迎えようとしています。クラス替えなどで新しい仲間と出会う中で、その環境にも早い段階で適応していきました。その直後から修学旅行の活動に入りましたが、学級や班などの様々な単位の活動を通して人間関係が広がり、本番の3日間でぐっと深まりました。食事の時間に、同じ食卓の仲間へ水を注ぐ気遣い、タクシー別行動の予定変更に対応する臨機応変さ、また新幹線や宿舎の部屋でカードゲームをみんなで遊んで、改めてアナログなゲームの面白さに気づいたという声も耳にしました。普段とは異なる子どもたちだけの濃密な3日間だからこそ、普段なかなか目に映りづらい、一人ひとりの頑張りや本当の優しさなどに触れ合うことができたと思います。そしてこのような大きい行事を経て、子どもたちの変化に適応する力、人への優しさ、そして人として成長していきたいという子どもたちに内在しているエネルギーの大きさをとても感じた1学期でした。

学習の場面でも、様々な成長が見受けられます。2年生の頃と異なるのは、進路開拓への意識がとても高まっていることです。自分が今後どうしていきたいのか考え始めて、そのためにいま何をしたらよいのか情報を集めようと自主的に行動する姿が見られるようになりました。また、もともと学ぶことに高い意欲を持っていましたが、さらに各教科のICTの新たな取り組みにもすぐに適応し、そこに楽しく学ぶことを見出しています。さらに実力テストや期末テストでは、進路開拓に向けて意識を高め、テストを受けるときの服装や身だしなみ、時間により気を遣うことができてきました。

この行動や意識の変化から、本当に自分たちでTPOを考えながら判断した場面がいくつもあり、「自律」という価値を自分たちの中に根付かせている姿を見せられ、こちらがその成長に驚かされます。7月の学校だよりもありましたが、修学旅行の1日目の広島での活動では、学年として制服を着用しようと生徒自身が考え選択しました。このきっかけとなったのは、修学旅行本番に近づいてきたとき、実行委員の生徒の中から「戦争の悲惨さ、平和について学ぶ場所では制服がふさわしいのでは？」という声が上がったことでした。この気づきを周囲の仲間へ伝え、そこから自発的にアンケートを各クラスで行い、その反応を踏まえて、最終的に強制的なものではなく学年全体で1日目は正装でいくという考えを推奨しようという流れになりました。そして当日は、3年生は制服を選択して碑めぐりガイドさんの話を聞き、平和記念資料館で学んでいました。この流れの中で、自分たちの気づきから考えたことに加え、それを行動に移し全体の課題としていったこと、そしてその情報伝達や意見集約の手段の一つとして、スマートフォンなどの電子機器を活用していました。

服装や身だしなみを律するというのは、相手への敬意を示すことだと思います。またスマートフォンなどの電子機器は、使用する・しないというだけではなく、大変難しい課題ですが、「現実をよくするための使い方」に昇華していく意識が大事なのではないかと思います。「ならぬものはならぬ」という価値も大事なのだと思います。スマホはそのネットワーク、ゲームの中に中毒性のあるものであることも事実です。それとともに、これも学校だよりからの重ねての引用となりますが、TPOに応じて、どうすることが関わる相手の心や価値観を大事にすることになるのか。また、どう活用することが世の中でよりよく人と関わりながら生きていく上で、その現実をより豊かなものにしていく活用の仕方なのか。そういうことを子どもたちと考え、今後も自律という価値を目指していきたいと思っています。

夏休み・2学期へ

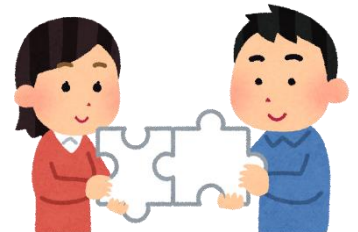
いよいよ夏休みです。さっそく三者面談が始まります。お忙しい中御都合をつけていただきありがとうございます。進路の方向性について、どんなことでもご相談ください。

夏休みは進路開拓に向けて、高校見学や学習などに充てる時間がとても多くなる期間です。最近、登山家の「平出和也」さんの話を聞いて、進路開拓の道筋は登山に似ているように思い、とても学びになりました。進路開拓も登山も、いきなりゴールを目指し、無目的に山のとっぺんを目指して進むことは難しいです。今の自分が、どんな山にどんなルートで登りたいのかを考える。とくに未踏ルートを見つけ探求する楽しさをお持ちでした。その未踏ルートを達成するためには、どんな行程で進むと目標に迫れるのか考え、そこで決めた行程にはどれぐらいの準備が必要で、1日にどれぐらい登れる時間があり、どれぐらいの距離を進む予定になるのか。そして実際に進んでみたとき、どんな条件の中どれぐらい達成したのか。そしてその達成度を踏まえて、次にどういう修正が必要なのか。そして平出さんにとっては、登山は山頂にたどり着くことがゴールではなく、登って無事に帰ってくるまでが一つのまとまりであるとおっしゃっていたことが印象的でした。

ここからヒントとなることは、自分の価値基準でどうするのか考え選択することができる力だと思いました。自分が何をしたいのか考え、いま描く将来に向けて自分で小さな目標を決め、やり切っていくこと。自分の過去と今を比べながら、進んでいくぶれない心なのではないかと考えました。このような力を進路開拓の中で培い、満足いく結果でも、そうではなくても、成長する時間に昇華していけるように支援していきたいと思います。

そして、2学期は、「体育祭」・「合唱コンクール」と、11月にかけて、中学校最後の行事も次々と迫ってきます。そこでは、チームとしての目標を目指したり、みんなで楽しむために、同級生や下級生の仲間たちと協働し、ものごとを進めていく力が求められます。

進路にしても、学校生活にしても、いよいよ個人やチームとして3年間の集大成となり、それぞれが蓄積してきた自律の成果が、最高の輝きとなるであろう瞬間が目白押しです。生徒の皆さんには、自分たちの手でその瞬間に立ち会えるよう最善を尽くし、仲間と喜びを分かち合えることを期待したいと思います。また、その支えとなれるよう私たちも粘り強く支援を続けたいと思っています。よろしくお願いいたします。



☆令和6年度2学期 始業式について

1. 日時	令和6年 9月 2日 (月)	
2. 時程	8:15	昇降口開錠
	8:30	出席確認
	8:30~ 8:40	SHR
	8:45~	移動
	8:55~ 9:10	始業式
	9:20~10:00	学活
	10:15~12:00	部活動